

不祥事防止への取組

水戸市立妻里小学校長 大内 崇敬

妻里小学校不祥事防止キャッチフレーズ（校内コンプライアンス研修より）

もしかして明日は自分 自分事として 考えよう

「信頼される学校づくり」のためには、教職員による不祥事はあってはならないものと考えます。本校では、県教育委員会の令和8年度の重点テーマ「重点対策4つの不祥事類型をゼロに！～飲酒運転・体罰・盗撮・わいせつ行為の根絶～」のもと、教職員の意識改革や職場風土の改革をすべく、下記のように年間を通して継続的に取り組んでいます。

1 【妻里小学校3ない運動+2】（県の重点テーマとの対応）

妻里小教職員3ない運動+2

- 1 体罰、不適切な言動はしない【県重点:体罰の根絶】
- 2 セクハラ、わいせつな行為はしない【県重点:盗撮・わいせつ行為の根絶】
- 3 交通法規を遵守し、飲酒運転はしない【県重点:飲酒運転の根絶】
- 4 金銭の取扱いに留意する（不正な学校徴収金、流用等はない）
- 5 個人情報の管理をしっかりと行う（紛失はない）

→他人事ではなく、自分事として捉え、妻里小学校として絶対にコンプライアンス違反を出さない

2 【5つの実践的な取組】

- ① 不祥事防止をテーマとした参加体験型の校内研修を定期的実施しています
妻里小教職員3ない運動+2を受け、校内研修会では、グループ討議やロールプレイングの手法を取り入れ、具体的な防止策を互いに提案する形で取り組んでいます。これらの校内研修は、年間計画に基づいて位置付け、定期的実践しています。
- ② チェックリストを基に、定期的に点検をしています。
不祥事の原因を知り、自分の行動や意識に問題はないか等を明確に把握するため、各不祥事のチェックリストを基に、定期的に点検をしています。自分自身でチェックすることで、未然防止につながっています。
- ③ 不祥事関連の記事内容や通知文等を利用し、時機を逃さずに教職員全体で共有しています。
新聞等に取り上げられる事故や事件が起こった場合には、時機を逃さずに不祥事の内容と対象職員の処分内容等について取り上げ、それを自分自身や自校の問題に置き換えて考えられるようにしています。県の不祥事防止推進の方針と連動させながら、全教職員で事例に学ぶ機会を設けています。
- ④ 全教職員で風通しのよい職場環境づくりを推進していきます。
教職員それぞれが抱えているストレスや個人的な悩みが、不祥事の遠因とならないよう、コミュニケーションを重視した職場環境づくりを重視しています。悩みを一人で抱え込まない、気軽に相談できる風通しのよい職場環境づくりを全教職員で推進し、不祥事防止に努めています。
- ⑤ PTAや学校運営協議会と不祥事防止に向けた取組内容を共有していきます。
PTAの運営委員会や学校運営協議会で不祥事防止に向けた取組内容を共有することで、「地域とともにある学校」という意識を高め、不祥事防止につながっていきます。

今後も、全教職員が一丸となって不祥事防止に取り組めます。また、妻里小学校からは絶対にコンプライアンス違反を出さないという強い決意をもって、一人一人が更に自覚と努力をしまります。